

# 中川選手が北京五輪代表に

## 水泳・女子高飛び込み

金沢学院大学2年の中川真依選手が、水泳・女子高飛び込みで、今年8月に開かれる北京オリンピックピックに出場することが決まりました。本学関係者からは8年ぶり5人目、学生では初めてとなります。

### 本学から 五輪出場 8年ぶり5人目、学生では初

3月4日に開かれたを満たす6位に入り、北日本水泳連盟の選考委員会で決まりました。京五輪出場をほぼ確実にして行きました。

中川選手はオリンピック 石川県内からオリンピック予選を兼ねた2月ピックの飛び込み代表のワールドカップで日に選ばれるのは20年ぶり9人目のことです。



北京五輪の日本代表に決まり祝福を受ける中川選手（中央）＝石川県白山市の松任総合運動公園室内プール（北國新聞社提供）



中川 真依（なかがわ・まい）  
金沢学院大学経営情報学部スポーツビジネス学科2年。小松市立高校在学中以来、日本選手権高飛び込み3度優勝。昨年のユニバシアード・バンコク大会で3位。小松市出身。20歳。

金沢学院大学関係で過去に五輪に出場したのは、渡辺涼子准教授（バルセロナ、柔道）、板倉美紀職員（同、陸上競歩）、古童子講師（シドニー、トランポリン）、中田大輔元職員（同、同）の4人です。

発行・広報室